

平成 26 年度群馬県地域医療介護 総合確保計画に関する事後評価

令和元年度執行分 (執行実績のない個票を除く) 群馬県

※ 本紙は、計画期間満了の翌年度まで、毎年度追記して国に提出するとともに、公表することに努めるものとする。

事業の区分	3. 医療従事者の確保に関する事業	
事業名	【NO.9】緊急医師確保修学資金貸与事業	【総事業費】 620,088 千円
事業の対象となる区域	県全域	
事業の実施主体	群馬県	
事業の期間	平成26年12月15日～令和2年3月31日 <input type="checkbox"/> 継続 / <input checked="" type="checkbox"/> 終了	
背景にある医療・介護ニーズ	<p>本県においても医師不足や偏在化が顕著であり、小児科や産科だけでなく、内科や外科などの診療科でも病院勤務医師の不足が生じていることから、医師の確保及び定着が喫緊の課題となっている。</p> <p>アウトカム指標：医療施設従事医師数（人口10万人対）233.6人以上（目標年次H30）</p>	
事業の内容（当初計画）	県内の地域医療に従事する医師数の増加を図るため、地域医療枠学生に対する修学資金の貸与を実施することにより、研修医の県内への誘導・確保を図る。	
アウトプット指標（当初の目標値）	26年度 資金貸与人数 94名	
アウトプット指標（達成値）	資金貸与人数 平成26年度…89名 平成27年度…99名 平成28年度…102名 平成29年度…108名 平成30年度…110名 令和元年…102名	
事業の有効性・効率性	事業終了後1年以内のアウトカム指標 <input type="checkbox"/> 観察できなかった <input checked="" type="checkbox"/> 観察できた <H30年医師・歯科医師・薬剤師統計の概況> H30年度医療施設従事医師数（人口10万人対）228.3人 （1）事業の有効性 ・貸与を受けた地域医療枠学生が、卒後10年間は県内の特定病院等で勤務することを返還免除要件としており、地域医療に従事する医師数の増加に効果がある。 （2）事業の効率性 ・資金貸与とあわせて、地域医療支援センターが地域医療枠学生及び卒業医師のキャリア形成（専門性の向上、地域医	

	療への貢献)を支援するため、医師の確保及び定着が効率的に図られる。
その他	平成26年度 157,794千円、平成27年度 173,994千円、平成29年度 199,476千円、令和元年度 88,824千円